



平成27年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エスプール

コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 浦上 壮平

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当

(氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

四半期報告書提出予定日 平成27年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第2四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第2四半期	3,438	6.2	31	△74.3	27	△76.8	△14	—
26年11月期第2四半期	3,237	24.5	122	106.0	118	123.8	99	126.5

(注)包括利益 27年11月期第2四半期 △14百万円 (—%) 26年11月期第2四半期 99百万円 (123.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第2四半期	△4.97	—
26年11月期第2四半期	36.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年11月期第2四半期	2,300	717	717	717	30.9	236.71
26年11月期	2,155	756	756	756	35.1	251.66

(参考)自己資本 27年11月期第2四半期 710百万円 26年11月期 755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年11月期	—	0.00	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,518	13.8	150	△27.2	140	△26.8	66	△59.7	22.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、平成27年7月2日発表の「平成27年11月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年11月期2Q	3,003,400 株	26年11月期	3,003,400 株
② 期末自己株式数	27年11月期2Q	62 株	26年11月期	62 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年11月期2Q	3,003,338 株	26年11月期2Q	2,719,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、国内の消費については足踏み状態が続いているものの、企業収益については、米国等の海外需要の復調の恩恵を受けた輸出企業を中心に製造業の生産が回復しており、国内景気は概ね持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような国内企業の収益改善を背景に人材不足感が継続しており、厚生労働省が発表した平成27年5月の全国の有効求人倍率は1.19倍と、1倍を超える高水準な状況が1年以上続いております。幅広い業種で求人が増加し、特に最近では医療・福祉、小売業等のサービス業において求人数が増加しております。

このような環境の下、当社グループは、当連結会計年度の事業方針である、コアマーケットの深耕・主力事業の再強化と新たな収益の柱の構築の2点に絞って事業を推進しております。主力事業については、前述の通り企業業績が回復していることもあり、ロジスティクスアウトソーシングサービスを中心に需要が好調に推移し、売上が順調に拡大しました。一方、損益面については、主力事業の業容拡大と新規事業の強化のために積極的に人員を増員したこと、及び平成27年7月より開始するスマートメーター設置業務に係る先行支出があったこと等により、人件費を中心に販売費及び一般管理費が大きく増加しております。また、平成27年8月に予定している本社移転に係る減損損失等の本社移転費用28,734千円を特別損失に計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,438,857千円（前年同四半期比6.2%増）、営業利益は31,640千円（前年同四半期比74.3%減）、経常利益は27,478千円（前年同四半期比76.8%減）、四半期純損失は14,927千円（前年同四半期は99,949千円の四半期純利益）と増収減益となりました。

平成27年11月期第2四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成26年11月期 第2四半期	平成27年11月期 第2四半期	増減率
売上高	3,237,717	3,438,857	6.2%
営業損益	122,947	31,640	△74.3%
経常損益	118,364	27,478	△76.8%
四半期純損益	99,949	△14,927	－%

当第2四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールロジスティクスにてロジスティクスアウトソーシングのサービスを、株式会社エスプールプラスにて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を、株式会社エスプールエコロジーにてフィールドマーケティングサービスを、株式会社エスプールセールスサポートにてマーチャンダイジング及び販売促進等のサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスが順調に拡大しました。通販事業者向けの共同配送センターが満床に近い状態で稼働したほか、訪日客増加の影響で百貨店向けの物流センターの物量が増加したため、売上が大きく伸張しました。一方、前述のスマートメーター設置業務に関する人件費、採用費、研修費、拠点設置費用、備品費等の支出が平成27年7月の業務開始に先立って発生しています。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,403,267千円（前年同四半期比6.4%増）、営業利益は87,724千円（前年同四半期比29.3%減）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間においては、企業の人材不足感が強まっており、主力のコールセンター業務において需要が好調に推移しました。一方、携帯電話販売業務においては抵触日を迎えた現場の穴埋めを新規現場で賄うことができず、伸び悩みました。損益面においては、逼迫する人材の採用市場の影響により売上総利益率がやや低下したほか、通信関連の大型案件を見込んで人員を中心に組織強化を図ったため、販売費及び一般管理費が大幅に増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,054,763千円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は161,986千円（前年同四半期比5.1%減）となりました。

平成27年11月期第2四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成26年11月期 第2四半期	平成27年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	3,292,239	3,458,030	5.0%
ビジネスソリューション事業	1,319,153	1,403,267	6.4%
人材ソリューション事業	1,973,085	2,054,763	4.1%
調整額	△54,522	△19,172	－%
合計	3,237,717	3,438,857	6.2%

営業利益（単位：千円）	平成26年11月期 第2四半期	平成27年11月期 第2四半期	増減率
報告セグメント	294,774	249,711	△15.3%
ビジネスソリューション事業	124,037	87,724	△29.3%
人材ソリューション事業	170,737	161,986	△5.1%
調整額	△171,827	△218,070	－%
合計	122,947	31,640	△74.3%

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末から48,428千円増加し、1,788,196千円となりました。当第2四半期連結会計期間の終了月である平成27年5月に売上が大きく拡大したため、売掛金が14,392千円増加したほか、前払費用が46,043千円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末から96,570千円増加し、512,328千円となりました。障がい者雇用支援サービス拡大のため、株式会社エスプールプラスにて新農園を建設しており、有形固定資産が30,348千円増加しました。また、本社移転に係る敷金の支払があったため、敷金及び保証金が59,022千円増加しております。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末から106,687千円増加し、1,363,512千円となりました。短期借入金を160,000千円借り増ししておりますが、納税により未払法人税等が32,524千円、未払消費税等が85,926千円、それぞれ減少しております。また、この他に未払金が57,116千円増加しております。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末から76,751千円増加し、219,167千円となりました。新規借入れにより、長期借入金が77,280千円増加しております。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、配当の支払及び四半期純損失等により38,439千円減少し、717,845千円となりました。

④キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は13,768千円減少し、805,520千円となりました。各活動によるキャッシュ・フローの状況と要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比169,388千円減少の87,051千円の支出(前年同四半期は82,337千円の収入)となりました。これは、税金等調整前四半期純損益が前年同四半期と比較して121,974千円減少し3,898千円の税金等調整前四半期純損失であったことに加え、未払消費税等の納付を主要因とした運転資本の減少が101,335千円、法人税等の支払額が45,249千円発生し、また、固定資産の減価償却費が32,427千円、減損損失が24,482千円、賞与引当金の増加が22,626千円発生したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期比69,792千円増加の158,073千円の支出(前年同四半期比79.1%増)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出80,619千円及び敷金及び保証金の差入による支出60,277千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、231,356千円の収入(前年同四半期は249,273千円の収入)となりました。収入及び支出の内訳は、短期借入金の増加160,000千円、長期借入れによる収入150,000千円、長期借入金の返済による支出49,106千円、配当金の支払額29,537千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

スマートメーター設置業務を中心とする新規事業に係る先行支出及び本社移転に係る特別損失の発生等の状況を踏まえ、通期の連結業績予想を修正致しました。詳しくは平成27年7月2日発表の「平成27年11月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,288	805,520
受取手形及び売掛金	778,561	792,954
商品	6,937	5,582
仕掛品	508	105
その他	145,718	192,856
貸倒引当金	△11,246	△8,822
流動資産合計	1,739,767	1,788,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	215,090	237,986
その他(純額)	61,562	69,013
有形固定資産合計	276,652	307,000
無形固定資産		
投資その他の資産	45,550	54,248
その他	124,083	179,679
貸倒引当金	△30,528	△28,600
投資その他の資産合計	93,555	151,079
固定資産合計	415,758	512,328
資産合計	2,155,525	2,300,525
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,620	93,733
短期借入金	310,000	470,000
1年内返済予定の長期借入金	75,270	98,884
未払法人税等	47,694	15,169
未払費用	338,793	330,640
賞与引当金	8,148	30,775
役員賞与引当金	14,600	—
その他	356,698	324,309
流動負債合計	1,256,825	1,363,512
固定負債		
長期借入金	109,430	186,710
資産除去債務	26,353	26,493
その他	6,632	5,964
固定負債合計	142,415	219,167
負債合計	1,399,241	1,582,680
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,138	351,138
資本剰余金	201,138	201,138
利益剰余金	202,797	157,836
自己株式	△53	△53
株主資本合計	755,020	710,059
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	809	855
その他の包括利益累計額合計	809	855
新株予約権	454	6,930
純資産合計	756,284	717,845
負債純資産合計	2,155,525	2,300,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
売上高	3,237,717	3,438,857
売上原価	2,427,877	2,611,377
売上総利益	809,839	827,480
販売費及び一般管理費	686,892	795,839
営業利益	122,947	31,640
営業外収益		
受取利息	119	179
受取手数料	176	467
還付消費税等	1,358	—
受取保険金	3,922	—
その他	41	112
営業外収益合計	5,618	759
営業外費用		
支払利息	7,253	4,617
社債利息	135	—
持分法による投資損失	1,671	304
支払手数料	1,140	—
その他	1	—
営業外費用合計	10,201	4,921
経常利益	118,364	27,478
特別損失		
固定資産除却損	288	2,642
本社移転費用	—	28,734
特別損失合計	288	31,376
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	118,075	△3,898
法人税、住民税及び事業税	26,113	12,734
法人税等調整額	△7,986	△1,705
法人税等合計	18,126	11,029
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	99,949	△14,927
四半期純利益又は四半期純損失(△)	99,949	△14,927

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	99,949	△14,927
その他の包括利益		
持分法適用会社に対する持分相当額	△90	45
その他の包括利益合計	△90	45
四半期包括利益	99,858	△14,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,858	△14,882
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	118,075	△3,898
減価償却費	19,826	32,427
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,020	△4,352
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,507	22,626
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△14,600
受取利息及び受取配当金	△119	△179
支払利息及び社債利息	7,388	4,617
持分法による投資損益(△は益)	1,671	304
固定資産除却損	288	2,642
減損損失	—	24,482
売上債権の増減額(△は増加)	△149,587	△14,392
たな卸資産の増減額(△は増加)	708	1,757
仕入債務の増減額(△は減少)	6,275	△11,886
未払費用の増減額(△は減少)	15,645	△8,152
その他	57,538	△68,661
小計	101,239	△37,265
利息及び配当金の受取額	119	179
利息の支払額	△7,260	△4,715
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,761	△45,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	82,337	△87,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△54,948	△80,619
無形固定資産の取得による支出	△33,835	△18,685
敷金及び保証金の差入による支出	△2,425	△60,277
敷金及び保証金の回収による収入	2,638	1,207
貸付金の回収による収入	289	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,281	△158,073
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	33,600	160,000
長期借入れによる収入	100,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△40,482	△49,106
配当金の支払額	—	△29,537
社債の償還による支出	△20,000	—
新株予約権の発行による収入	3,276	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	172,900	—
その他	△20	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	249,273	231,356
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	243,329	△13,768
現金及び現金同等物の期首残高	486,426	819,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	729,755	805,520

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,308,365	1,929,351	3,237,717	—	3,237,717
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10,788	43,734	54,522	△54,522	—
計	1,319,153	1,973,085	3,292,239	△54,522	3,237,717
セグメント利益	124,037	170,737	294,774	△171,827	122,947

(注) 1. セグメント利益の調整額△171,827千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,188千円及びセグメント間取引消去△638千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	人材ソリューション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,397,496	2,041,361	3,438,857	—	3,438,857
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,770	13,401	19,172	△19,172	—
計	1,403,267	2,054,763	3,458,030	△19,172	3,438,857
セグメント利益	87,724	161,986	249,711	△218,070	31,640

(注) 1. セグメント利益の調整額△218,070千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△216,919千円及びセグメント間取引消去△1,151千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。